

# 市民ネットワーク NO. 61

## まちづくり通信

### INDEX

- ・これからがスタート
- ・一般質問
- ・議会傍聴に行ってきました
- ・縄文の森を守ろう
- ・市営霊園を考える
- ・みんなの声



山田京子の  
議会報告

### 千葉市議会 第2回定例会報告

平成21年6月29日  
～7月16日

発行：市民ネットワーク

編集：市民ネットワークわかば

〒264-0033 千葉市若葉区都賀の台4-5-15

☎ 043-284-2339

fax : 043-284-2362

ホームページアドレス <http://www.chibanet.jp/wakaba/>

## これからがスタート

### 市政改革!

熊谷新市長誕生後、初の議会では攻守が逆転し、今まで前市長側だった議員に戸惑いが見られました。

市長はマニフェストに集中した辛口の一般質問もこなしながら、新しい政策を提案したわけですが、保守系議員が多い千葉市議会、実現までには紆余曲折がありそうです。本格的な論戦は9月議会以降です。まさにスタートはこれからです。



『うちの会派は賛成なの? 反対なの?』

#### ◎市長・副市長の給与カットの条例改正案 継続審査へ

新市長が提出した改正案に関しては、市民ネットをはじめ、民主・共産・無所属が賛成したものの、自民・公明・新政ちばが「継続審査」を主張し、結論が9月に持ち越されました。この改正案は、千葉市の財政状況が厳しいことから、市長・副市長が率先して自らの給与をカットし財政再建への強い姿勢を示すものです。「よくぞ言ってくれた」と思うことはあっても、「算定根拠があいまい」など賛成できないとする会派の理由は、市民にとってはどうも説得力に乏しいと思われま

※市長：給料2割、ボーナス5割、退職金5割、  
副市長：給料1割、ボーナス3割をカット

#### 千葉市議会棟

今議会への関心は高く、初日の傍聴者は約200名。  
市民ネットワークわかばでは、9月に市議会傍聴ツアーを計画しています。



市民ネットワークは「千葉市および市民にとって何が大切なのか」と考えます。議案に反対する場合も賛成する場合も、その理由を市民に明らかにし、中身のある、議会での議論を進めていきます。

### 新市長誕生

## 議会傍聴に行ってきました

- 熊谷市長で変わった事 -

#### ◎財政健全化に向け具体案が示された

これまで、いくら借金が増えようがお構いなしで進められた公共事業ですが、熊谷市長は早速「モノレール延伸凍結」「蘇我副都心開発の縮小」を打ち出しました。また、大型公共事業のみでなく、全事業の棚おろしの必要があること、未来に本当に必要なものは何かを考えていく、と語っています。5年後、10年後の千葉市に夢が描けますね!

#### ◎議会や委員会の傍聴者が多くなった

市長は「市がする事を市民に理解してもらうには、とにかく、分かりやすい、できる限りの情報公開しかない」と言い、市民、議員に強く協力を求めています。私たち市民も情報を待っているだけではなく、議会や公開されている委員会にもっともっと傍聴に出かけてみましょう!

#### ◎市長がきちんと答える

今までの市長は代表質問・質疑のみで一般質問には自分で答えていませんでした。しかし熊谷市長は市長への質問全てに自ら答えています。しかも、自身の言葉で答弁しているので、大変分かりやすい! そのせいか、議会も活性化しているような気がしました。市職員や他の議員も見習い、分かりやすい、活発な議会となるよう期待したいです。

< 後藤 >

#### ◆一般質問

#### 市民ネットワーク

#### ◆1年生の入所できる

#### 子どもルームを求めて

「小西由希子の一般質問より」

小学校入学直後は、下校も早く、子どもも学校に慣れないなど、信頼できる大人による支えが必要です。しかし、平成21年4月時点の子どもルームの待機児童は1年生61人、2年生41人、3年生29人で、相変わらず1年生の多さは問題です。

新1年生が入所できる基準の見直しを長年要望してきましたが、改善されていません。市は、今回も「公平な基準のあり方について検討する」との答えでした。早急な改善を求めました。

また、夏休み後に307人(20年度)も退所することから、夏休みに預けたいがために、申し込む人が多いのではと予想されます。夏休みに特化した子どもルームを開設してはどうかと提案をしました。

#### 補助金は有効に使われているか?

「湯浅美和子の一般質問より」

千葉市の補助金は、302件66億8315万円(21年度予算)。交付先は、社会福祉協議会、住宅供給公社や、身近なところでは自治会の防犯街灯、地域の集団回収などさまざまです。30年以上続けて交付されている団体は132件もあります。従来、「惰性で交付されている」「補助金の効果が検証されていない」「補助があるために団体の自立が阻害されている」などの課題が指摘されています。

新市長のマニフェストには「補助金のムダカット」とあり、今後の方向性を問いました。答弁では、「今年度、補助金のガイドラインを定め、定期的に補助の必要性・効果の検証を行う」とのことです。

補助金が効果的に使われるよう、今後も求めていきたいと思えます。